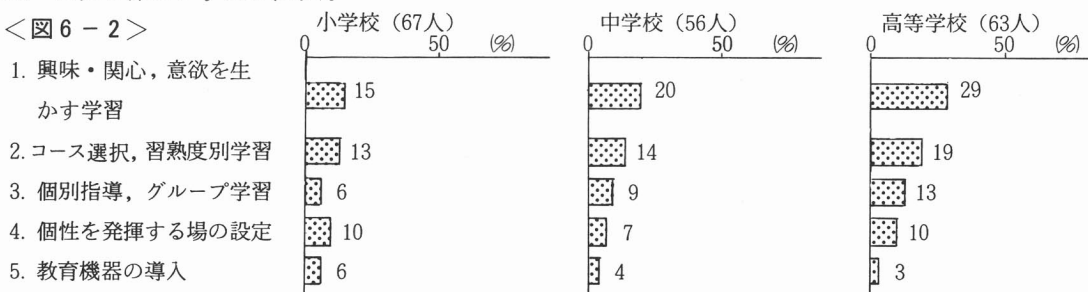


【図6-1以外の記述】

- 小学校 ○興味・関心を基にした授業(5) ○はげましによる意欲の向上(5)  
 中学校 ○個人ごとの到達目標の設定(4)  
 高等学校 ○チーム・ティーチングによる能力別指導(4) ○小クラス編成による指導の徹底(5)  
 ○小・中・高等学校の連携指導(2)

(3) 個性を伸ばす学習の在り方

<図6-2>



【図6-2以外の記述】

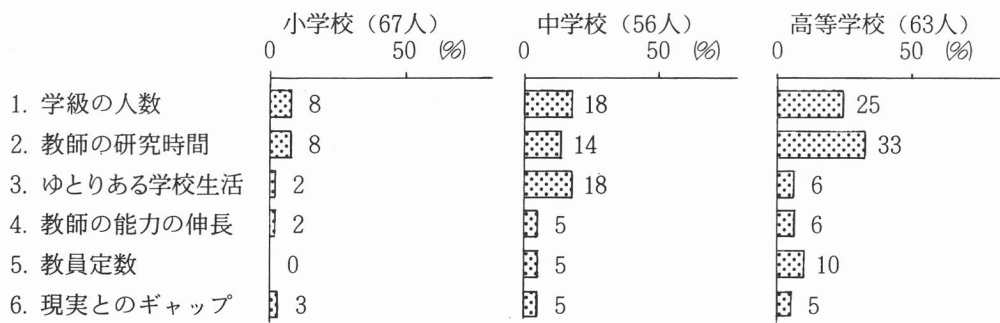
- 小学校 ○一斉指導の中での個性の伸長(2) ○個性化を目指す教科や単元で実施(2) ○チーム・ティーチングによる指導(2) ○児童の人格尊重(3)  
 中学校 ○一斉指導からの脱皮が必要(4) ○個別指導と一斉指導の組み合わせ(2) ○個人差に対応する段階的課題の設定(2) ○オープンエンドの学習(2)

(4) 基礎・基本の定着と個性の伸長とのかかわり

基礎・基本の定着と個性の伸長とのかかわり	小学校 (67人)	中学校 (56人)	高等学校 (63人)
1. 基礎・基本の定着と個性の伸長は、段階的に考えられるべきであり、相反する傾向にある	22%	13%	3%
2. 基礎・基本の定着と個性の伸長は、同時に高められていくものであり、相反するものではない	3	2	12
3. 基礎・基本の定着と個性の伸長は、相反するものではないが、そのかねあいが難しい	6	4	2

(5) 「基礎・基本の定着と個性の伸長」のための配慮事項

<図6-3>



【図6-3以外の記述】

- 画一化の改善(6) ○学校教育全体で育てるべき(8) ○教育環境の整備(13) ○慎重な対応(8) ○教育システムの改善(2) ○入試を含めた総合的な見直しが必要(15)